

神戸市景況・雇用動向調査

第35回 結果報告

令和4年7月

神戸市経済観光局

1. 調査の概要	1
2. 神戸経済の動向（2022年6月）～結果の概要～	2
（1）業況	5
（2）生産・売上	7
（3）原材料・仕入れ価格	9
（4）採算	11
（5）資金繰り	13
（6）投資計画の有無	15
（7）投資規模	17
3. アンケート内容（オンライン調査）	18

1. 調査の概要

- (1) 目的・内容 市内企業の短期的な景況と雇用に関する動向を把握する目的で、市内企業に対するアンケート調査、ヒアリング調査を一連の「神戸市景況・雇用動向調査」として実施する。
- (2) 調査対象 市内に本社のある企業2,000社（回収数639、回収率：32.0%）

	市内本社企業			合計
	大規模	中規模	小規模	
製造業	0	20	39	59 (94)
非製造業	3	256	321	580 (1,906)
合計	3	276	360	639 (2,000)

() 内は調査対象企業数

(定義)

小規模・・・市内に本社があり、以下に該当するもの

(製造業その他) 従業員数20人以下の企業

(商業・サービス業) : 従業員5人以下の企業

中規模・・・市内に本社があり、小規模に該当しない以下のもの

(製造業その他) 資本金3億円以下又は従業員数300人以下

(卸売業) 資本金1億円以下又は従業員数100人以下

(小売業) 資本金5千万円以下又は従業員数50人以下

(サービス業) 資本金5千万円以下又は従業員数100人以下

大規模・・・市内に本社があり、小規模、中規模のいずれにも該当しないもの

(分類)

製造業（7分類）食料品等、化学・石油製品等、ゴム製品製造業、鉄鋼・金属等、一般機械器具、電信・輸送機器等、その他の製造業

非製造業（9分類）建設業、運輸・倉庫業、卸売業、小売業、不動産業、情報サービス、宿泊・飲食サービス、その他の対事業所サービス、その他の対個人サービス

- (3) 調査期間 2022年6月1日（水）～2022年6月20日（月）

- (4) 集計・ 報告書の数値は、DI(デフュージョンインデックス)を用いた。

表示方法

$$DI = X - Y$$

X = 上昇・増加・過剰・改善・過大と回答した企業の割合 (%)

Y = 下降・減少・悪化・不足と回答した企業の割合 (%)

※DIおよび時系列比較項目については無回答を除いて集計した。

※報告書内のグラフおよび数表の値は、単位未満を四捨五入しており、回答の小計および合計値が100%にならない場合がある。

2. 神戸経済の動向（2022年6月）～結果の概要～

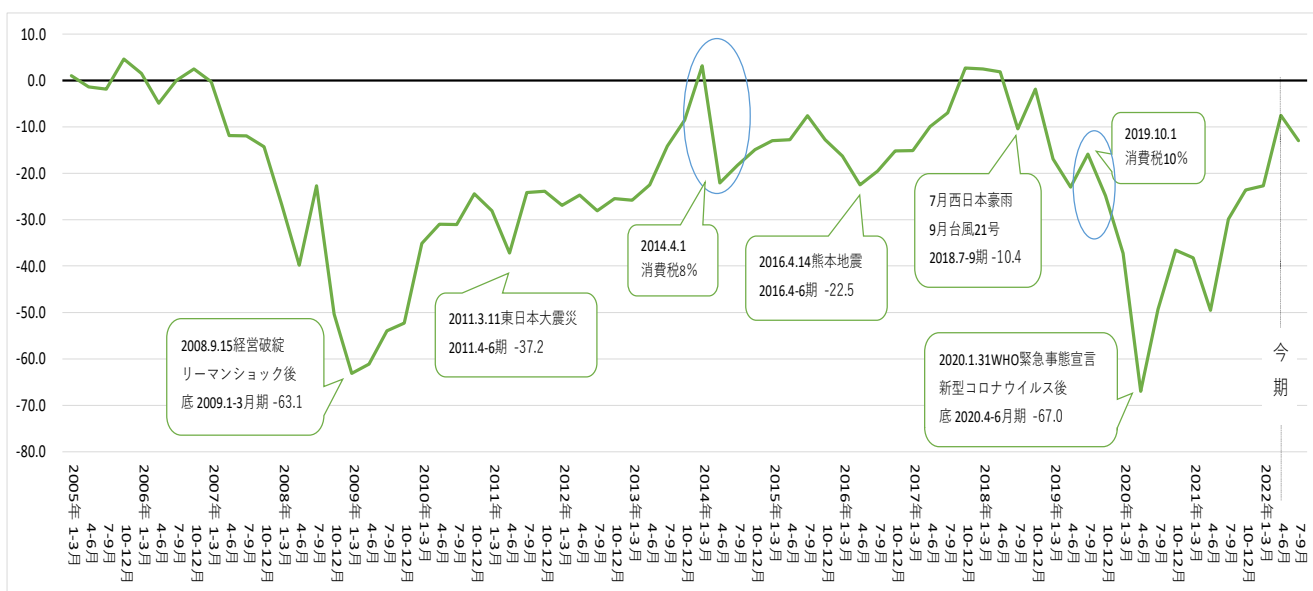
自社業況DIは、全産業でマイナス7.5ポイントと、前期より5.5ポイントの上昇

先行きについて、来期は低下に転じる見通し

- 今期（2022年4～6月期）の業況DIは▲7.5と、前期（▲22.7）と比べて15.2ポイント上昇した。
- 業種別では、製造業の今期の業況DIは▲8.1と、前期（▲35.5）より27.4ポイント上昇した。
非製造業の今期の業況DIは▲7.5と、前期（▲21.3）より13.8ポイント上昇した。
- 規模別では、大規模企業の今期の業況DIは▲33.3と、前期（0.0）より33.3ポイント低下した。
中規模企業の業況DIは3.2と、前期（▲17.1）より20.3ポイント上昇した。小規模企業の業況DIは▲15.6と、前期（▲27.2）より11.6ポイント上昇した。
- 先行きについて、円安の進行による輸入物価の上昇、原油等価格高騰に伴う原材料費等仕入価格の上昇を背景に、来期（2022年7～9月期）の業況DIは▲13.0と低下する見通し。




















































【調査対象】 市内企業2,000社（回収数：639社、回収率：32.0%）

【調査時期】 2022年6月1日（水）～2022年6月20日（月）

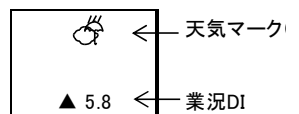








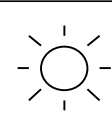
区分1	区分2	業況DI（上昇－下降）		
		2022.1～3	2022.4～6	2022.7～9 （予測）
全体		-22.7	-7.5	-13.0
規模別	大規模	0.0	-33.3	-33.3
	中規模	-17.1	3.2	-5.0
	小規模	-27.2	-15.6	-18.9
業種別	製造業	-35.5	-8.1	-9.7
	非製造業	-21.3	-7.5	-13.3

【業種別動向】(前期:令和4年1月~3月期、今期:令和4年4月~6月期、来期:令和4年7月~9月期)

区分1	区分2	前期	今期	来期	業種別のヒアリング対象企業のコメント
	全体	 ▲ 22.7	 ▲ 7.5	 ▲ 13.0	以下、各業種におけるヒアリングのコメントを掲載。
業種別	食料品等	 ▲ 86.7	 ▲ 26.7	 ▲ 6.7	・今期は取引先からの発注が減少した。円安に転じる事で輸入品価格の低下、人流の回復に期待するが、当面は変わらないと思う(食料品製造業) ・コロナ禍のピークに比べれば上がったが、元に戻っただけ。今後も、大きく変わる要素が見受けられない(パン製造業)
	化学・石油製品等	 25.0	 25.0	 ▲ 25.0	・前期は農業向けの需要が高かった。原油価格が上昇基調で他社に先立って価格転嫁を始めたため、駆け込み需要で前期は良かったが、今期・来期は反動による減を見込んでいる(他の工業用プラスチック製品製造業)
	ゴム製品製造業	 25.0	 ▲ 25.0	 0.0	・前期中もコロナ禍で販売は伸び悩むも既往程の落ち込みは無く、原油価格上昇分も吸収可能な範囲であった。当期は原油価格高止まりに加えて為替の影響も発生した事で市場環境は悪化傾向に転じた。翌期は原油価格・為替動向次第で変動すると予測した(ゴム製品製造業)
	鉄鋼・金属等	 0.0	 12.5	 0.0	・コロナによる中国でのロックダウンの影響で、前期より更に落ち込むかと思ったが、そうでもなかった。今後は供給面が少しづつでも改善するのではないか(自動車関連・金属プレス製品製造業)
	一般機械器具	 ▲ 40.0	 ▲ 20.0	 0.0	・今期は、設備関連受注数に変化がなく、今後も、大手取引先に変化がないと、受注数は伸びない(ポンプ・同装置製造業)
	電信・輸送機器等	 ▲ 50.0	 ▲ 50.0	 ▲ 50.0	・新車関連の受注は伸び悩んでいるが、整備需要は一定水準を維持している(自動車部部品・附属品製造業)
	その他の製造業	 ▲ 33.3	 0.0	 ▲ 12.5	・自粛の緩和により前期に比べて、上向いたが、消費者需要はしばらく現状維持が続く(革製履物製造業) ・コロナ禍により輸出が停滞し、状況に変化はない。受注数は伸びていない(革製履物製造業)
	建設業	 ▲ 24.1	 ▲ 25.9	 ▲ 27.6	・需要は底堅く推移している。今後について、顧客動向を鑑みると大きな変化は無い(建築リフォーム工事業) ・インフラ関連の需要は底堅く、受注も比較的好調である。今後も公共事業の変更や変化が見られず、変わらない(土木工事業)
	運輸・倉庫業	 ▲ 34.7	 ▲ 7.7	 ▲ 7.7	・物流需要は底堅く、既存の受注減少分も他社の受注獲得でカバーできている。今のところ、需要減なく、去年と比べて決算も大きく変わらないであろう。右肩上がりではないが、水素・電気自動車の大幅な普及がない限りは大きく下落しないと思う(特定貨物自動車運送業)
	卸売業	 ▲ 12.9	 ▲ 6.4	 ▲ 12.8	・前期より納期遅れ等が発生しているものの、状況に大きな変化は無い。引き続き仕入環境は厳しく、当面は現状維持が続く(産業機械器具卸売業) ・前年から売上や受注は変わらない。先行き不透明感はあるが、足元で大きな変化は無い(木材・竹材卸売業)
	小売業	 ▲ 28.0	 ▲ 20.0	 ▲ 23.2	・来店数・客単価などに大きな変化が見られなかった。物価の上昇や、景気の動向などを踏まえると、見通しは暗い(各種食料品小売業) ・今期は、売上が減少した。今後の動向緩やかで変化は見込めない(その他の小売業)
	不動産業	 ▲ 6.1	 ▲ 2.0	 ▲ 2.0	・賃貸業は動向がほぼ変化なかった。今後も現状維持が続くのではない(貸事務所業) ・コロナの影響があったが大きく変わらず。旅行業も徐々に動いてくるため、上がってくるのでは(貸家業)
	情報サービス	 ▲ 15.4	 ▲ 38.5	 ▲ 7.7	・医療業界向けの商材を扱っている為、一定の需要が維持できている(情報提供サービス業) ・保険業務においては一定の需要を維持しており、変化は無かった(情報処理サービス業)
	宿泊・飲食	 ▲ 25.0	 39.7	 13.2	・徐々にイベントの復活などは見られるが、大規模な宴会・宿泊は依然自粛傾向にある(食堂、レストラン) ・コロナの規制解除に伴い、客足が戻ってきた。興行やイベントが徐々に増えてきている(バー、キャバレー、ナイトクラブ)
	対事業所サービス	 ▲ 3.0	 ▲ 4.5	 ▲ 13.6	・官民共に案件が減少した。新規公共事業も出でならず、来期は変化なし(警備業) ・人の動きが出てきて、需要が増えた。今後にも期待(リネンサプライ業)
	対個人サービス	 ▲ 32.9	 ▲ 14.9	 ▲ 19.1	・ゴルフ人口は大きく変動しておらず、コロナ禍の影響も大きく出ず、来客数は変わらなかった。予約状況から今後も変化は無いと見られる(ゴルフ場)

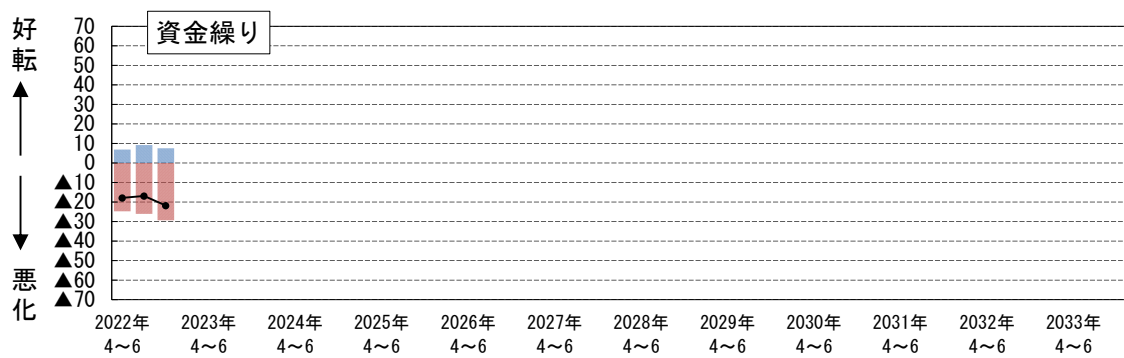
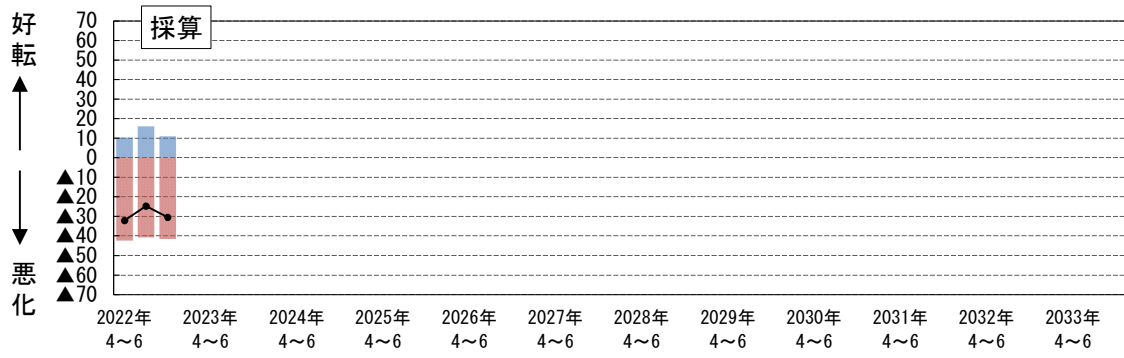
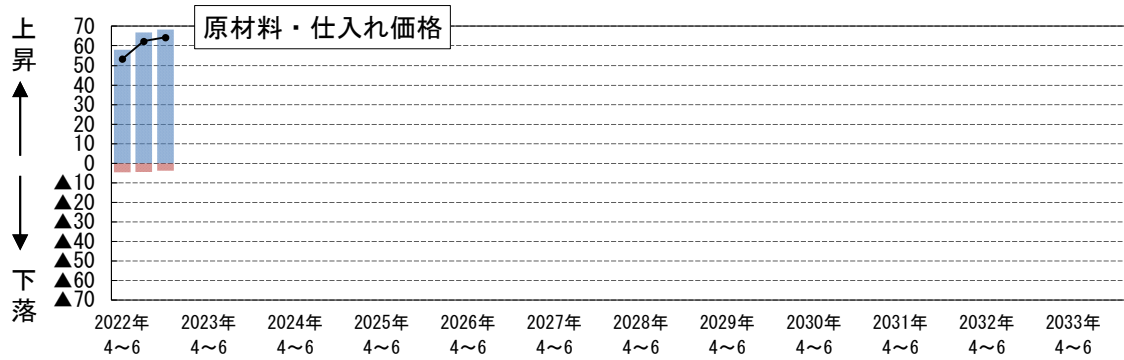
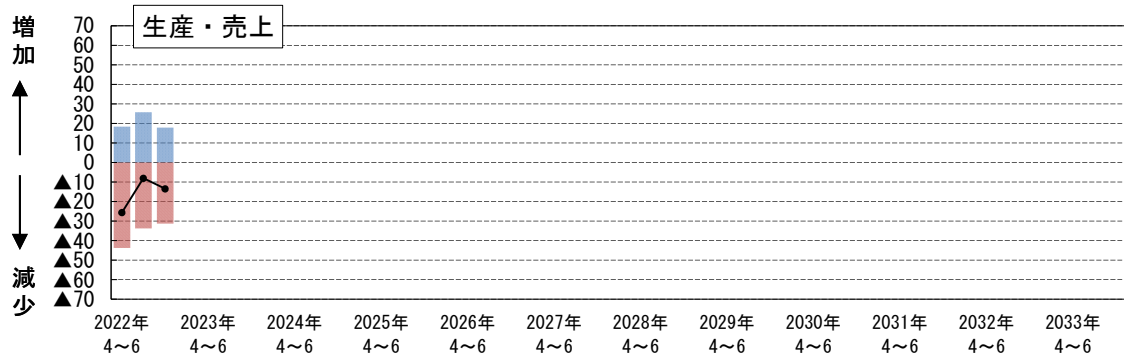
※今期のDI(全規模)が前期よりも10ポイント以上差がある業種については、矢印を表記している。
※表中の見方は右図の通り。



DI	▲60.1以下	▲60.0~ ▲40.1	▲40.0~ ▲20.1	▲20.0~ ▲5.1	▲5.0~ 5.0	5.1~ 20.0	20.1以上
天気							

(参考資料)

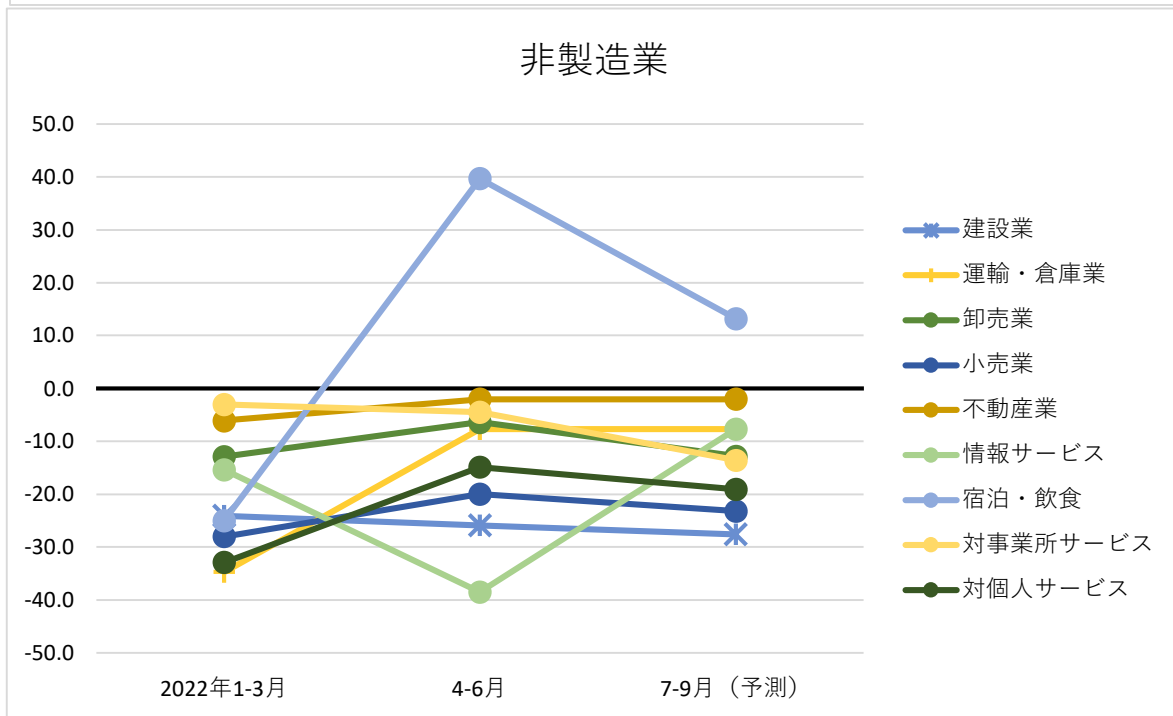
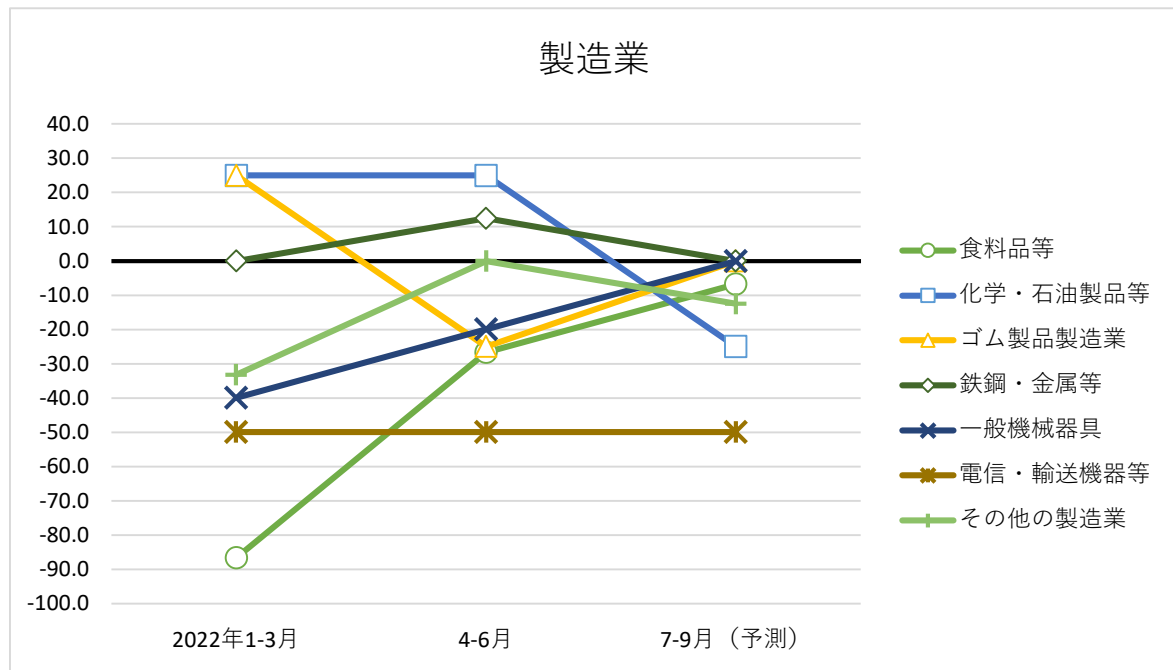
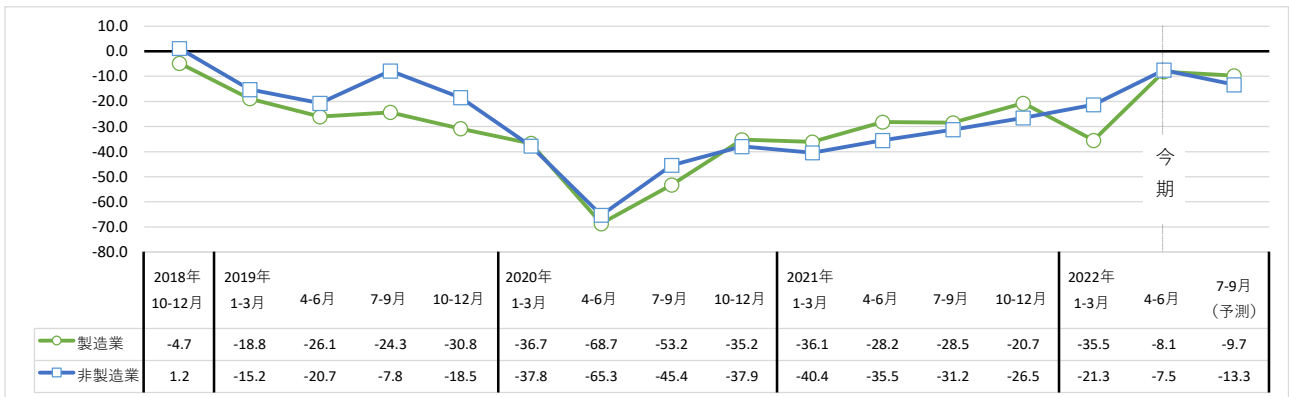
主要指標の推移



(1) 業況

「各四半期の業況が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「上昇と回答」 (%) - 「下降と回答」 (%)

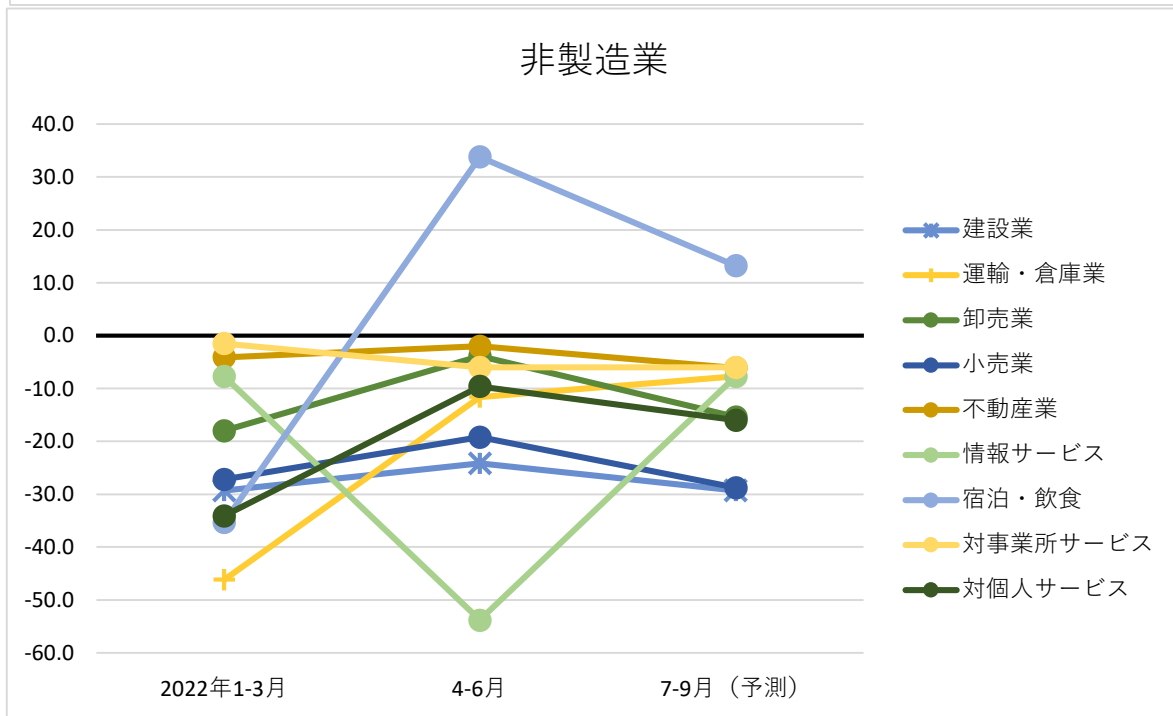
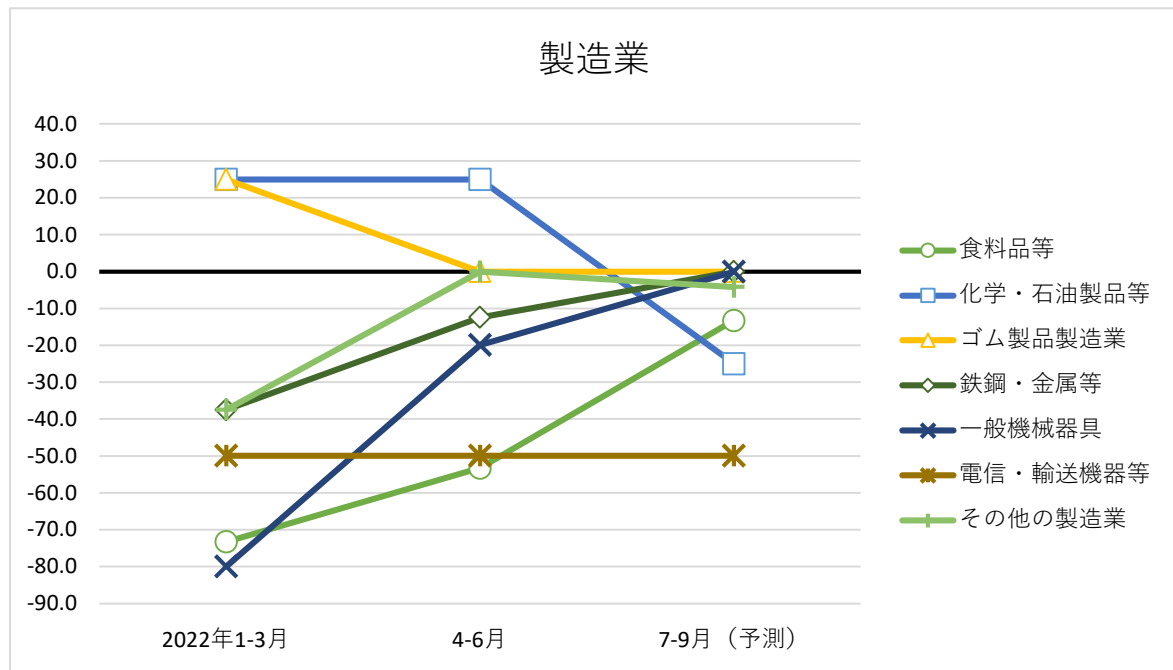
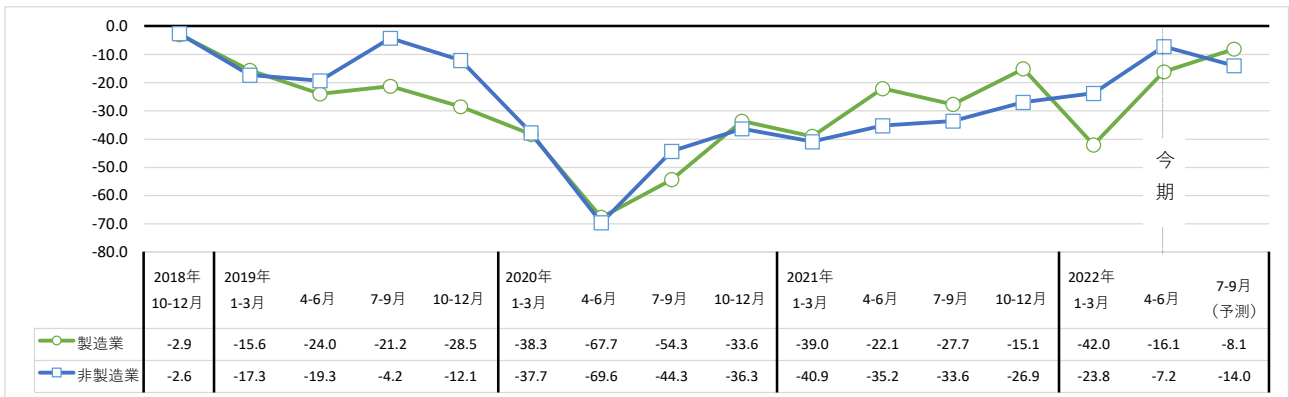


区分1	区分2	区分3	業況DI（上昇一下降）			
			2022.1~3	2022.4~6	2022.7~9 （予測）	
全体			-22.7	-7.5	-13.0	
規模別	大規模		0.0	-33.3	-33.3	
	中規模		-17.1	3.2	-5.0	
	小規模		-27.2	-15.6	-18.9	
業種別	製造業		-35.5	-8.1	-9.7	
		食料品等	-86.7	-26.7	-6.7	
		化学・石油製品等	25.0	25.0	-25.0	
		ゴム製品製造業	25.0	-25.0	0.0	
		鉄鋼・金属等	0.0	12.5	0.0	
		一般機械器具	-40.0	-20.0	0.0	
		電信・輸送機器等	-50.0	-50.0	-50.0	
		その他の製造業	-33.3	0.0	-12.5	
		非製造業		-21.3	-7.5	-13.3
		建設業	-24.1	-25.9	-27.6	
		運輸・倉庫業	-34.7	-7.7	-7.7	
		卸売業	-12.9	-6.4	-12.8	
		小売業	-28.0	-20.0	-23.2	
		不動産業	-6.1	-2.0	-2.0	
		情報サービス	-15.4	-38.5	-7.7	
		宿泊・飲食	-25.0	39.7	13.2	
	対事業所サービス	-3.0	-4.5	-13.6		
	対個人サービス	-32.9	-14.9	-19.1		

(2) 生産・売上

「各四半期の生産・売上が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「増加と回答」 (%) - 「減少と回答」 (%)

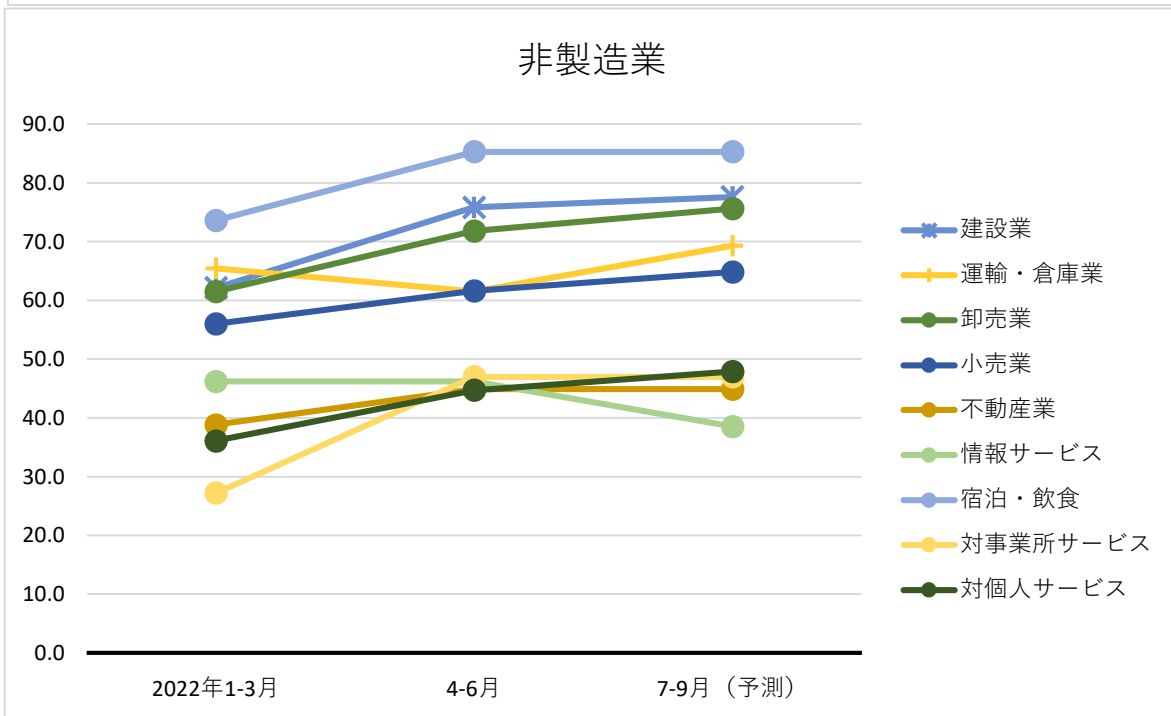
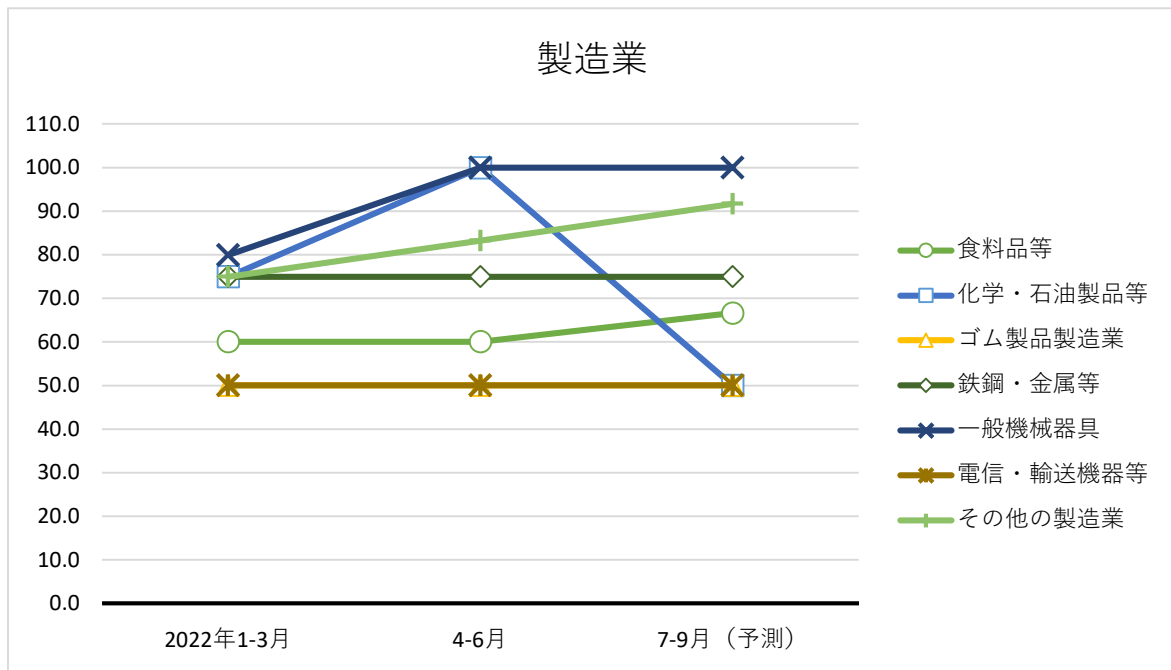
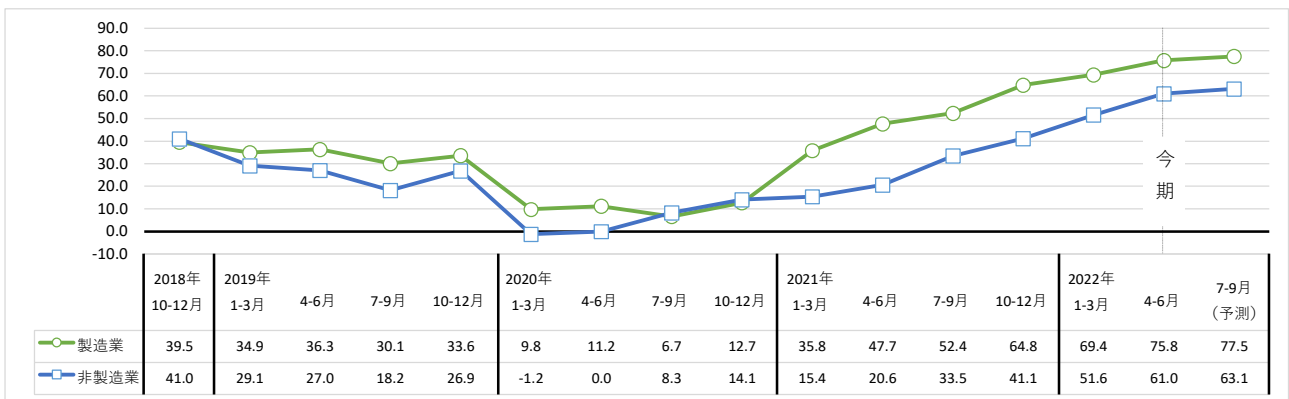


区分1	区分2	区分3	生産・売上DI（増加－減少）			
			2022.1~3	2022.4~6	2022.7~9 （予測）	
全体			-25.5	-8.1	-13.5	
規模別	大規模		0.0	-33.3	-33.3	
	中規模		-20.3	3.3	-3.6	
	小規模		-29.7	-16.7	-20.8	
業種別	製造業		-42.0	-16.1	-8.1	
		食料品等	-73.3	-53.3	-13.3	
		化学・石油製品等	25.0	25.0	-25.0	
		ゴム製品製造業	25.0	0.0	0.0	
		鉄鋼・金属等	-37.5	-12.5	0.0	
		一般機械器具	-80.0	-20.0	0.0	
		電信・輸送機器等	-50.0	-50.0	-50.0	
		その他の製造業	-37.5	0.0	-4.2	
		非製造業		-23.8	-7.2	-14.0
		建設業	-29.3	-24.2	-29.3	
		運輸・倉庫業	-46.2	-11.6	-7.7	
		卸売業	-18.0	-3.9	-15.4	
		小売業	-27.2	-19.2	-28.8	
		不動産業	-4.1	-2.0	-6.1	
		情報サービス	-7.7	-53.8	-7.7	
		宿泊・飲食	-35.3	33.8	13.2	
	対事業所サービス	-1.5	-6.0	-6.0		
	対個人サービス	-34.1	-9.6	-16.0		

(3) 原材料・仕入れ価格

「各四半期の原材料・仕入れ価格が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「上昇と回答」 (%) - 「下落と回答」 (%)

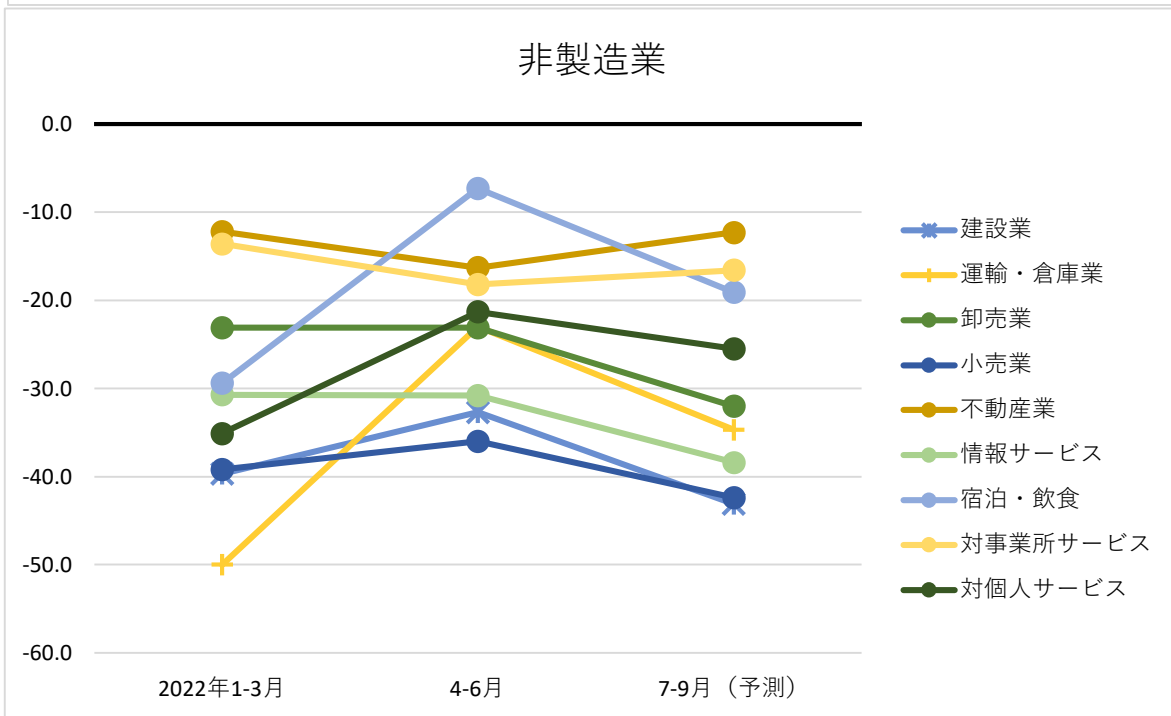
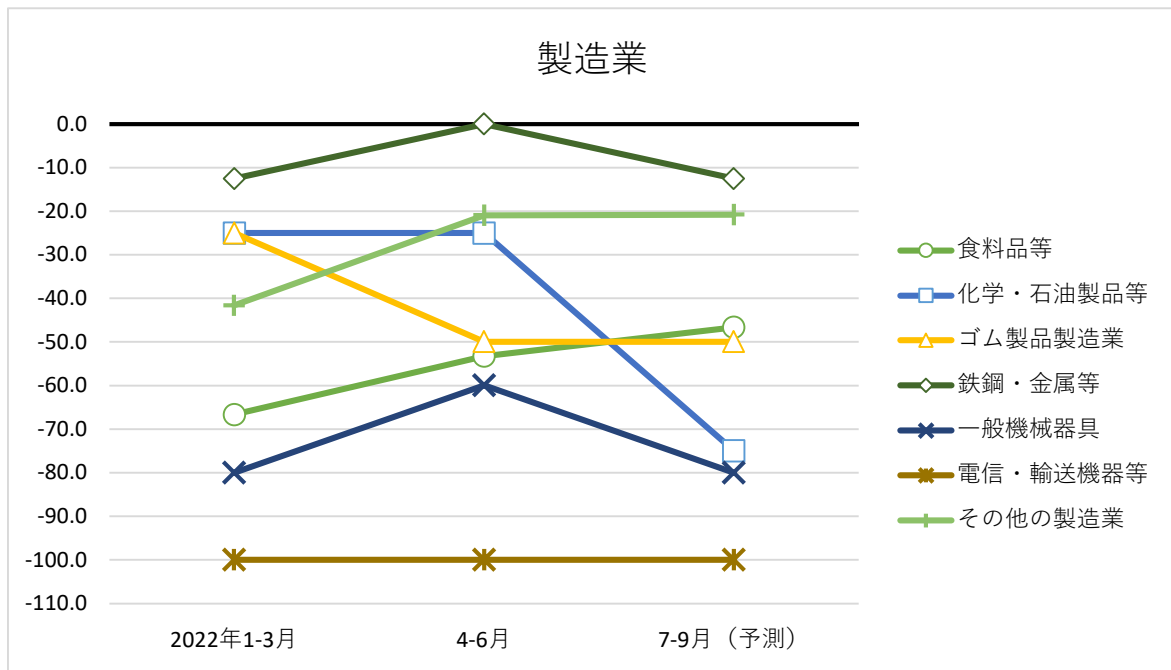
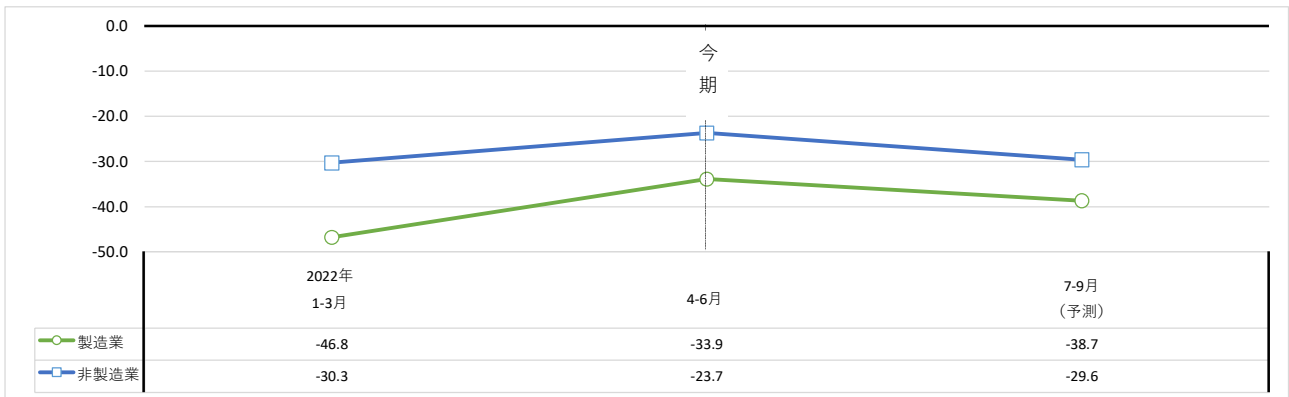


区分1	区分2	区分3	原材料・仕入れ価格（上昇一下落）			
			2022.1~3	2022.4~6	2022.7~9 （予測）	
全体			53.4	62.4	64.4	
規模別	大規模		33.3	0.0	0.0	
	中規模		57.6	68.5	69.2	
	小規模		50.3	58.3	61.4	
業種別	製造業		69.4	75.8	77.5	
		食料品等	60.0	60.0	66.6	
		化学・石油製品等	75.0	100.0	50.0	
		ゴム製品製造業	50.0	50.0	50.0	
		鉄鋼・金属等	75.0	75.0	75.0	
		一般機械器具	80.0	100.0	100.0	
		電信・輸送機器等	50.0	50.0	50.0	
		その他の製造業	75.0	83.3	91.7	
		非製造業		51.6	61.0	63.1
		建設業		62.1	75.8	77.6
		運輸・倉庫業		65.4	61.5	69.3
		卸売業		61.5	71.8	75.6
		小売業		56.0	61.6	64.8
		不動産業		38.8	44.9	44.9
		情報サービス		46.2	46.2	38.5
		宿泊・飲食		73.6	85.3	85.3
		対事業所サービス		27.2	47.0	47.0
		対個人サービス		36.1	44.7	47.9

(4) 採算

「各四半期の採算が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「好転と回答」 (%) - 「悪化と回答」 (%)

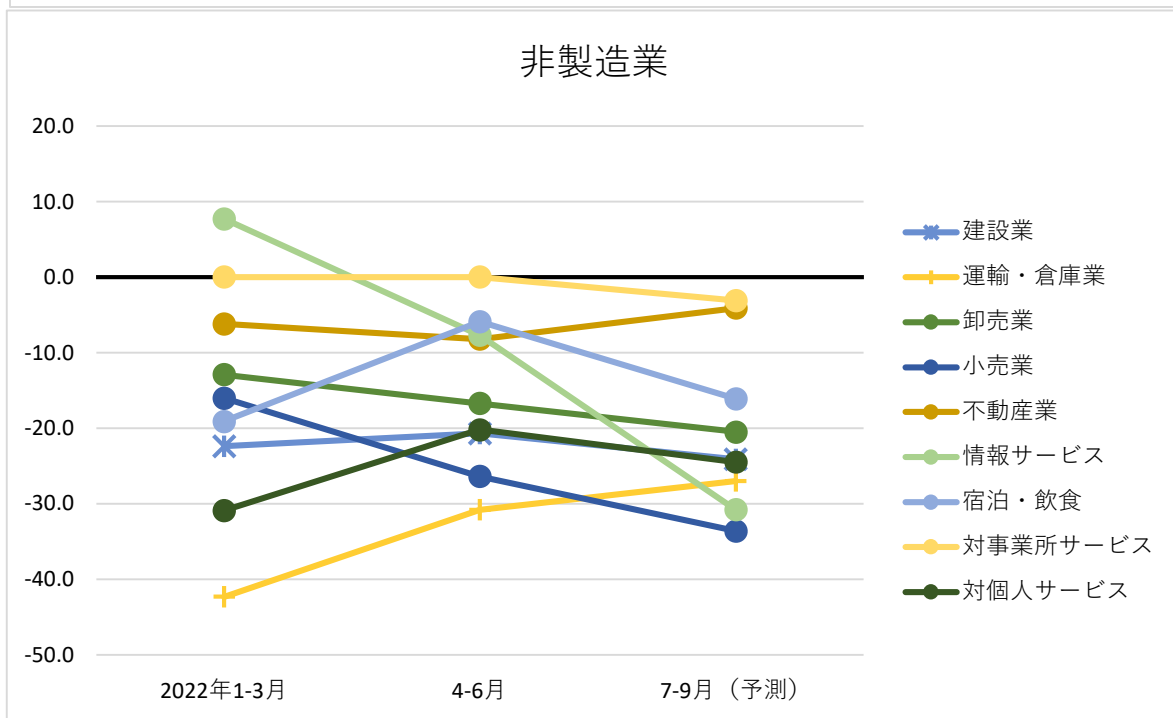
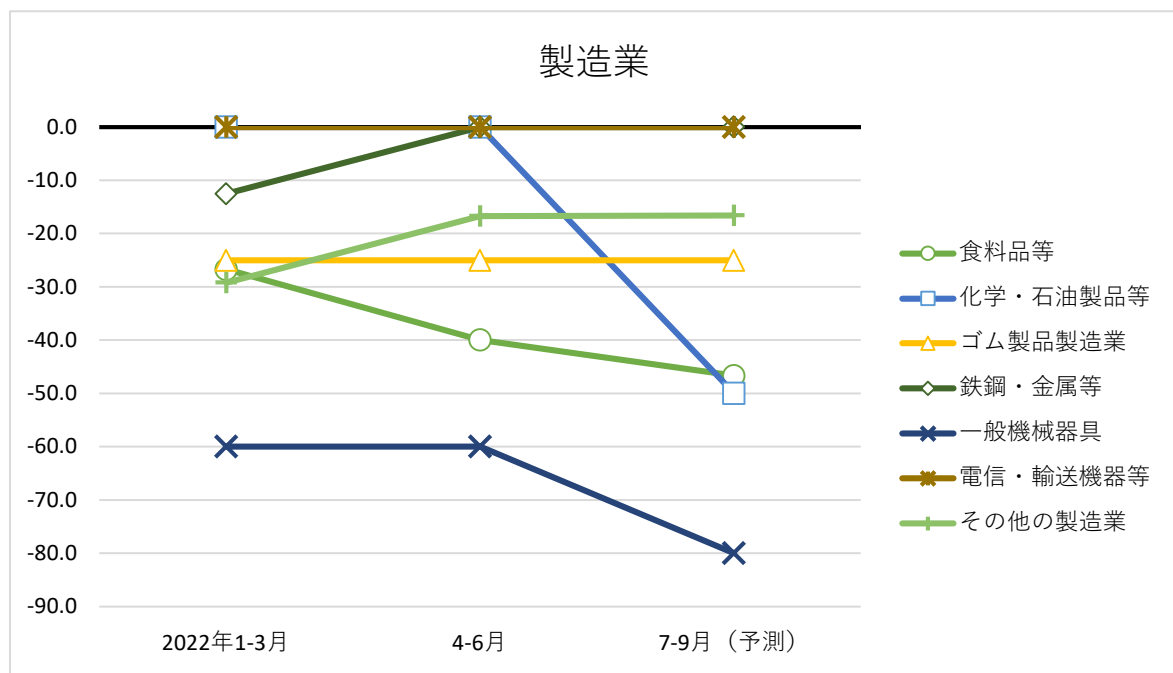
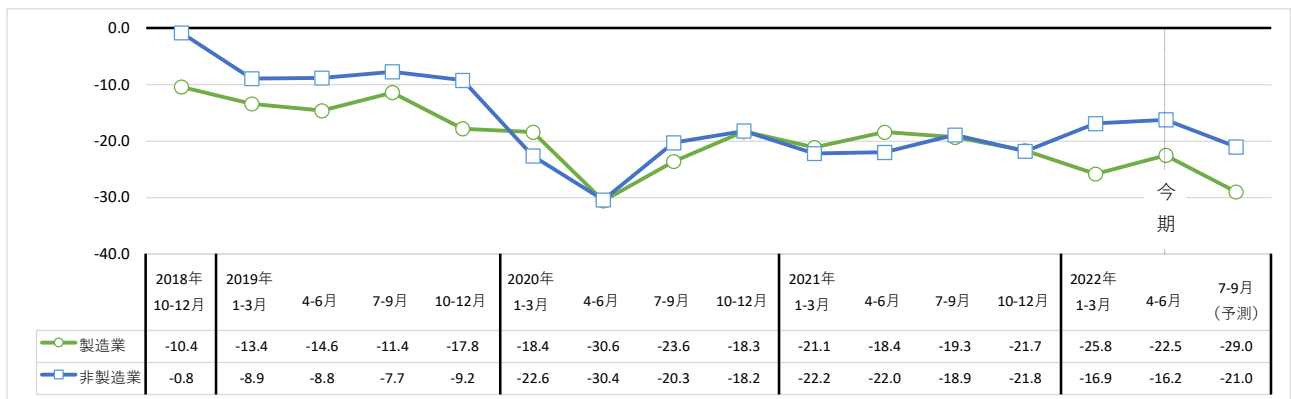


区分1	区分2	区分3	採算（好転－悪化）			
			2022.1~3	2022.4~6	2022.7~9 （予測）	
全体			-32.0	-24.7	-30.5	
規模別	大規模		0.0	-33.3	-33.3	
	中規模		-28.7	-16.0	-23.9	
	小規模		-34.8	-31.4	-35.5	
業種別	製造業		-46.8	-33.9	-38.7	
		食料品等	-66.7	-53.3	-46.7	
		化学・石油製品等	-25.0	-25.0	-75.0	
		ゴム製品製造業	-25.0	-50.0	-50.0	
		鉄鋼・金属等	-12.5	0.0	-12.5	
		一般機械器具	-80.0	-60.0	-80.0	
		電信・輸送機器等	-100.0	-100.0	-100.0	
		その他の製造業	-41.6	-20.9	-20.8	
		非製造業		-30.3	-23.7	-29.6
		建設業	-39.7	-32.7	-43.1	
		運輸・倉庫業	-50.0	-23.0	-34.7	
		卸売業	-23.1	-23.1	-32.0	
		小売業	-39.2	-36.0	-42.4	
		不動産業	-12.2	-16.3	-12.3	
		情報サービス	-30.7	-30.8	-38.4	
		宿泊・飲食	-29.4	-7.3	-19.1	
	対事業所サービス	-13.6	-18.2	-16.6		
	対個人サービス	-35.1	-21.3	-25.5		

(5) 資金繰り

「各四半期の資金繰りが直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「好転と回答」 (%) - 「悪化と回答」 (%)



区分1	区分2	区分3	資金繰り（好転－悪化）			
			2022.1~3	2022.4~6	2022.7~9 （予測）	
全体			-17.8	-16.9	-21.8	
規模別	大規模		-33.3	-33.3	-33.3	
	中規模		-13.4	-10.8	-19.6	
	小規模		-21.1	-21.4	-23.3	
業種別	製造業		-25.8	-22.5	-29.0	
		食料品等	-26.7	-40.0	-46.7	
		化学・石油製品等	0.0	0.0	-50.0	
		ゴム製品製造業	-25.0	-25.0	-25.0	
		鉄鋼・金属等	-12.5	0.0	0.0	
		一般機械器具	-60.0	-60.0	-80.0	
		電信・輸送機器等	0.0	0.0	0.0	
		その他の製造業	-29.2	-16.7	-16.6	
		非製造業		-16.9	-16.2	-21.0
		建設業	-22.4	-20.7	-24.1	
		運輸・倉庫業	-42.3	-30.8	-27.0	
		卸売業	-12.9	-16.7	-20.5	
		小売業	-16.0	-26.4	-33.6	
		不動産業	-6.2	-8.2	-4.1	
		情報サービス	7.7	-7.7	-30.8	
		宿泊・飲食	-19.1	-5.9	-16.1	
	対事業所サービス	0.0	0.0	-3.1		
	対個人サービス	-30.9	-20.2	-24.5		